

～考古博に展示されるまでの道程～

1) 発掘調査

道路や建物等の開発に先立ち、遺跡の発掘調査をおこないます。発掘調査で出土した遺構は図や写真として記録し、遺物はコンテナに入れて考古博物館に持ち帰ります。

2) 整理作業

見学

遺跡でみつかった遺構や遺物を整理し、成果をとりまとめた報告書を作成します。この整理作業を通して、遺跡の正確な年代や性格を明らかにしていきます。



3) 収蔵・保管

見学

公開・活用

報告書が刊行された遺跡の遺物は博物館で収蔵・保管します。土器や石器等の丈夫なものは一般収蔵庫で保管し、指定文化財や保管環境に注意が必要な金属製品などは特別収蔵庫で保管します。出土した遺物の大半は収蔵庫に収められており、展示室に並んでいる遺物は収蔵品のごく一部です。



土器や石器、金属器などのこと 遺跡でみつかった建物跡や溝、墓などのこと

整理作業の工程 ※下の流れは主に遺物です。その他、遺構の整理も並行しておこないます。

①水洗い

すべての遺物に、遺跡名や出土位置を示す記号を、1点1点記入します。



②ネーミング(登録)

遺物の多くは破片でみつかります。パズルのように繋ぎ合わせ、補強します。

③接合・補強

④実測・トレース(製図)

報告書掲載の写真を撮影します。図には出ない質感を表現します。

遺物をよく観察し、大きさや形などの正確な図面を作成します。

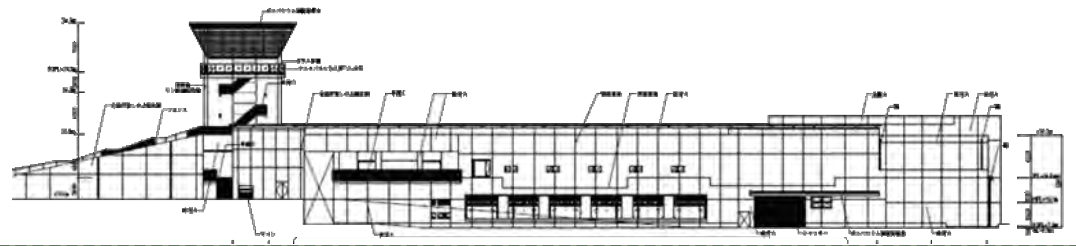
⑤写真撮影

⑥レイアウト・執筆

保存処理

金属器や木製品は、放置しておく、出土した時の状態から大きく変化(錆びや乾燥収縮など)してしまいます。そこで、科学的な処理を施すことによって、その変化を最小限に留めます。

報告書の刊行



KOUKOHAKU バックヤード見学ツアー

BACKYARD

TOUR 考古博物館の
ウラガワ探検

カギを開け、いざ考古博の深層へ

埋蔵文化財の修復

埋蔵文化財の図化

埋蔵文化財の保存処理

埋蔵文化財の保管



受付: 13:00~
(1日2回 先着15名)

1st 13:30~

2nd 14:30~

兵庫県立考古博物館



(公財) 兵庫県まちづくり技術センター





写真保管庫

発掘調査で記録した写真を保存している場所です。

トラックヤード

トラックで遺物や展示品などを搬入します。大型シャッターを完備しています。



①遺物整理室

水洗い～製図までをこの部屋でおこないます。

含浸作業室



専用の機器や薬品を使用して、鉄器などを処理するための部屋です。

⑤写真撮影室

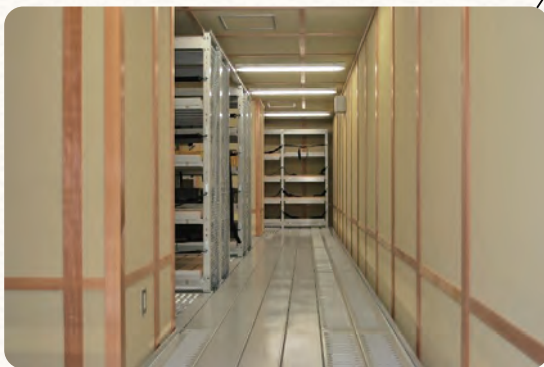


小さな遺物から大きな遺物まで、様々な遺物に応じた写真撮影が可能です。



⑥大型エレベーター

どんな展示物も運びます。



特別収蔵庫

温度・湿度を一定に保つように管理しています。耐火性も優れています。

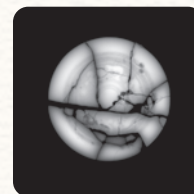


②保存処理室

木器や漆器、鉄器などの脆弱な遺物を取り扱う部屋です。様々な機器や薬品を使用して保存のための処理をおこないます。

③資料室

X線撮影など様々な分析をおこなう部屋です。



※大きな木製品の処理は主に魚住分館でおこなっています。



④一般収蔵庫 大量の出土品を保管しています。

順路

※ツアーで回るのは主に番号の箇所です 順番は変更することがあります